

九州大学病院

研修医師 久良木 悠介 2013年5月

2013年5月の1ヶ月間、出水総合医療センターを中心に地域医療研修をさせていただきました久良木悠介と申します。出身地は鹿児島市、出身大学は九州大学です。

研修医1年目は福岡の市中病院で、2年目は九州大学病院で現在研修させていただいております。今回は地域医療研修の枠で、1ヶ月間出水市にて研修をさせていただきました。

思い返せば5月1日の夕方、同期と2人で博多から新幹線で出水駅に降り立つと、そこには博多では見慣れない山里と田園風景の広がる景色がありました。

出水駅で病院からの事務員さんが、郷愁誘う鹿児島弁で私達を出迎えてくれたことが印象深く残っています。出水での生活は綺麗な空気と豊かな自然に囲まれ、夜になると毎晩のように福岡では見られない綺麗な星空を眺めることができました。食事も美味しく魅力が多いこの街で1ヶ月過ごせたことを嬉しく思っています。

実際の地域医療研修についても密度の濃い研修を受けさせていただき、毎日充実した日々を過ごすことができました。

研修は院内研修と院外研修の2つに分かれています。院内研修が行われる出水総合医療センターは、北薩地域の中核病院の1つである高度医療機関です。

私は主に院内で総合内科での研修を希望し、総合内科外来と超音波検査実習および糖尿病の管理・治療計画に関して勉強させていただきました。

院外研修で回る野田・高尾野診療所では地域医療を支えている総合医の先生方に直接ご指導いただきました。

上場・大川内診療所でのへき地医療研修や訪問診療、介護施設研修や保健センター研修を通じ、その地域のニーズを満たす地域医療の実際を経験することができました。

研修プログラムの内容も自由度が高く、希望をすれば研修内容変更に関しても相談に乗っていただけました。熊本で開催された日本糖尿病学会にも休日を利用し参加させていただきました。

1ヶ月の研修の中で多くの人との出会いがあり、忘れられない貴重な経験をすることができました。1ヶ月があっという間に過ぎてしまい、今では福岡に戻るのが少し寂しく感じています。

私は生まれ育った鹿児島が大好きです。高校時代まで過ごした故郷に今回は医師として戻って来ることができたことを嬉しく思います。私の1ヶ月の研修が実りあるものであったのは、ひとえに私に関わってくださった病院関係の皆様方、先生方のご支援のおかげです。本当にありがとうございました。いつかまたご縁がありましたらその時はどうぞよろしく願い致します。